

滿洲國代表張國務總理大臣閣下ノ一般的所見（翻譯）

（十一月五日）

本日茲ニ私ハ滿洲帝國代表ノ資格ヲ以テ、大東亞諸國ノ政府首腦各位ト親シク相見エ、苛烈ナル決戰ノサ中ニモ大ナル希望ヲ持ツテ、隔意ナキ意見ヲ交換スルヲ得タルコトハ、私ノ衷心ヨリ欣快トスル所デアリマス、私ハ此ノ歴史的會合ヲ主催セラレタル大日本帝國政府ニ厚ク感謝スルト共ニ、東條總理大臣閣下ヲ初メ、此ノ最モ重大ナル時局ニ當リ國民ノ輿望ヲ擔ツテ日夜國務ニ盡瘁セラレツ、アル參會ノ各國政府首腦各位ニ對シ、深キ敬意ヲ表スル次第デアリマス、更ニ又大東亞ヲ繞リ數千里ニ亙ル長大ナル戰線ニ在ツテ、今此ノ瞬時ニ於テモ、敵米英トノ激闘ガ續ケラレツ、アルコトヲ思ヒ、私ハ大東亞戰銃後ノ一國トシテノ我が國ヲ代表シ、大日本帝國ヲ初メ參戰各國及ビ其ノ將士ノ善謀勇戰ニ對シ、虔ミテ感謝ノ誠ヲ捧グルモノデアリマス。

大東亞戰爭開戦以來、日本皇軍ハ戰史ニ比類ナキ赫々タル大戰果ヲ擧ゲ、以テ多年ニ亙リ東亞ヲ侵蝕シ其ノ犠牲ニ於テ自ラノ繁榮ヲ維持シ來リタル米英勢力ヲ、隨處ニ擊破驅逐シ去リ、戰爭勃發後二年ヲ出デズシテ、今ヤ曩ニ實現ヲ見タル「ビルマ」國、「フィリピン」國ノ獨立ヲ初メトシ、東亞民族ハ逐次其ノ本然ノ姿ニ還リ、各々其ノ所ヲ得テ洋々タル將來ヲ望ミ、數百年來彼ノ貪婪飽クナキ米英帝國主義ノ爲失ハレタル生氣ヲ取戻シツ、アルノデアリマス、悲惨ナリシ過去ニ訣別シ、辱セラレタル榮譽ヲ回復スベク、米英支配權力ノ僞瞞ト抑壓トニモ拘ラズ、東亞各國ニ脈々トシテ底流シツ、アツタ解放ヘノ念願ハ、大日本帝國ノ終始一貫セル道義的政策ト旺盛ナル實行力トニ依リ、大東亞ノ名ニ於テ茲ニ一舉ニ實現セラレントシツ、アルノデアリマス、我等ハ此ノ千載一遇ノ好機ニ際會シテ、限りナキ悦ビノ中ニモ、東亞解放ノ爲身命ヲ擲チテ、鮮血ヲ流シタル各國幾多ノ先覺烈士ヲ想起シ肅然襟ヲ正サザルヲ得ナイノデアリマス。

私ハ更ニ此ノ機會ニ、十年前我方滿洲國ガ最初ノ眞ノ東亞的ナル自覺ヲ有スル新興國家トシテ建國セラレタルコトヲ回顧シ、深キ感慨ナキヲ得ナイモノデアリマス、私モ亦抑ヘ難キ熱情ヲ以テ建國ニ參畫シタノデアリマスガ、當時滿洲ニ於テ最モ缺ケテ居ツタモノハ道義ニ基ク政治デアリマシタ、從ツテ民衆ハ何等理想アル目標ニ指導セラレ組織セラル、コトナク、國土ハ荒廢シ、軍閥ノ封建政治ニ依ル無秩序ナル苛斂誅求ガ行ハレ、何等ノ自由性創造性モナキ典型的ナル虐ゲラレタル東亞ノ様相ヲ呈シテ居ツタノデアリマス、而シテ當時ノ滿洲ノ支配者トシテ人民ニ飽クナキ搾取ヲ加ヘツ、アツタ張學良軍閥ガ、米英ノ東亞

攪亂政策ニ乗ゼラレテ露骨ナル反日態度ニ出デタノニ對シ、日本ガ敢然起ツテ張軍閥ヲ打倒シタ結果、茲ニ眞ニ國民ヲ向上シ、國土ヲ發展セシムベキ自主的ナル道義國家ノ樹立ニ、三千萬民衆ノ總意ガ翕然トシテ集ツタノハ當然ノ成リ行キデアリマシタ、而シテ我等ノ意圖スル所ハ、有ラユル國際情勢ガ干涉シ來リ、相互ニ紛糾シテ常ニ東亞ノ安定ニ脅威ヲ與ヘテ居ツタ滿洲ヲ、一轉シテ眞ニ古キ東方道義ニ立脚シ、新シキ東亞ニ目醒メタル強ク正シキ國家トシテ、東亞全體ノ安定力タラシメントスルニ在ツタノデアリマス、我等ノ信ズル所ニ依レバ、東亞ガ光輝アル道統ニ立還ツテ、本然ノ姿ニ於テ世界ノ文運ニ貢獻スベキコトハ、恰モ歐洲諸民族ガ歐洲諸民族トシテ生き、米洲各國ガ米洲各國トシテ自存スベキガ如ク、大義ノ明カニ示ス所デアリ、サウシテ東亞ガ東亞タルノ自覺ヲ保持スル限り、ソレハ何モノモ遮リ得ザル歴史ノ必然ト考ヘラレタノデアリマス、然ルニ東亞ノ東亞的自覺ヲ好マザル米英ハ、其ノ傀儡機關タル國際聯盟ヲ動カシ、又當時南京ニ在ツタ蔣介石政權ヲ使曠シ、有ラユル妨害ヲ加ヘテ來ツタノデアリマス、而モ我が國ノ永久ニ感銘ニ堪ヘナイコトハ、日本ガ多大ノ國力ヲ費シテ血ヲ以テ張學良軍閥ヲ驅逐シタルニ拘ラズ、何等ノ領土的野心ヲ示サズ、公明ナル道義的態度ヲ以テ、我が獨立ト自主發展トヲ援助シタコトデアリマス、加之、日本ハ、我が獨立ヲ擁護スルト共ニ、東亞新秩序建設ヲ高調シテ國際聯盟ヲ脫退シ、斷乎タル態度ヲ中外ニ闡明シタノデアリマス、斯ク考ヘルナラバ、滿洲建國コソハ、今日大東亞全域ニ實現セラレツ、アル大東亞共榮圈建設ノ最初ノ強力ナル一步ヲ踏ミ固メタルモノデアルト謂フコトガ出來ルノデ

アリマス。

斯クノ如クニシテ建國セラレタル滿洲國ガ此ノ十年間、如何ナル政策ノ下ニ如何ナル成果ヲ擧ゲタカニ付イテハ、特ニ全世界ノ注目ヲ集メテ居ル所デアリマスガ、私ハ此ノ機會ヲ藉リテ、二三ノ基本問題ニ觸レテ御説明ヲシタイト思ヒマス。

第一ニ民族ノ協和デアリマス、我ガ滿洲國ニ於テハ、日滿蒙其ノ他多數ノ民族ガ共存シテ居ルノデアリマスガ、從來一般ニ異民族間ニ見ラレタルガ如キ支配、被支配、搾取、被搾取ノ關係デハナク、相互ニ其ノ特長ヲ發揮シツ、國家目的ノ達成ニ協力シテ行クモノデアリマス、此ノ點米英等帝國主義ノ民族支配トハ根本的ニ相違スルノデアリマシテ、萬邦ヲシテ各其ノ所ヲ得シメ、兆民ヲシテ各其ノ堵ニ安ンゼシメントスル日本肇國ノ精神ト相照應スルモノトシテ、大ニシテハ大東亞各國ノ共存共榮ノ方式ヲ示唆スルモノト思ヒマス。

第二ニハ、北邊ノ鎮護トイフコトデアリマス、即チ大東亞共榮圈ノ建設ニハ、獨リ我ガ國ノ國防ヲ全ウスルトイフニ止マラズ、我ガ國自體ガ大東亞北邊ノ防壁トシテ、之ヲ遂行ニ些カノ不安ナカラシムコトガ絶對ニ必要ナノデアリマス、我ガ國ハ夙ニ之ヲ最モ重大ナル使命ノ一ツトシテ、大日本帝國ト共同防衛ノ盟約ヲ結び、鐵壁ノ態勢ヲ執リツ、アリ、此ノ點些カモ不安ナキコトヲ明言致スト共ニ、今後モ各位ノ御期待ニ十分應ヘタイト所期シテ居ル次第デアリマス。

第三二八、國民生活ノ安定ト強く正シイ國民ノ鍊成デアリマス、即ち政府ハ建國後直チニ、從來紛亂ヲ極メ收拾最モ困難トセラレテ居ツタ貨幣制度ヲ、極メテ急速ニ統一シタ結果、物價ハ安定シ、延イテハ今日ノ如キ國民生活ノ安定ヲ確保スルニ成功シタノデアリマス、又之ト併行シテ行ハレタノハ治安ノ確立デアリマシテ、建國當時三十萬ノ匪賊ヲ國內ニ横行シタノニ比ベ、現在ハ全ク影ヲ潛ムルニ至ツタノデアリマス、加フルニ客年國兵制度確立セラレ、近代兵器ノ裝備ヲ有スル精強ナル國軍ヲ創設シ、完備セル警察制度ト相俟チ、國內ノ隅々迄國民ヲ安居樂業セシメテ居ルノデアリマス。

一方政府ハ、勤勞奉公制度、文教振興方策等有ラユル手段ヲ通ジ、國民ノ鍊成ニ力ヲ注ギ、國家觀念ヲ培養シ、勤勞尊重ノ風潮ヲ促シ、心身兩面ニ互リ強壯ニシテ新シキ東亞ノ民タルニ恥カシカラヌ青少年ノ育成ヲ圖リ、今ヤ其ノ數ハ飛躍的増大ヲ見テ居ル次第デアリマス、此ノ第二國民ノ出現ハ、現下ノ戰爭完遂ヘノ協力ノ上ニ於テハ勿論、將來ノ國運發展ノ上ニ期シテ待ツベキモノガアルト存ゼラル、ノデアリマス。

最後ニ重要ナモノハ、産業ノ開發デアリマス、政府ハ建國第五年度ヨリ産業開發五ヶ年計畫ノ實行ニ著手シ、有ラユル困難ナル客觀的條件ヲ克服シテ、一昨年度ヲ以テ成功裡ニ之ヲ終了シ、更ニ昨年度ヨリ第二次五ヶ年計畫ノ實行ニ入ツタノデアリマスガ、戰時下特ニ要請セラレル鐵、石炭、非鐵金屬等ノ重工業資源ノ急速開發、輕金屬、化學工業ノ促進等ハ、電力ノ飛躍的増産設備ノ整備ト相俟ツテ、著々躍進ヲ遂

ゲ、各部門ニ於テ既ニ世界的強國ノ水準ニ達シツ、アルノデアリマス、又農産物方面ニ於キマシテモ、本來ノ農本國タルノ特色ヲ發揮シ、目下計畫的増産ニ邁進シツ、アリ、東亞ノ有力ナル食糧基地タルノ實ヲ舉ゲテ居ル次第デアリマス。

以上ノ如キ建設ノ成果ニ付イテニ、三ノ數字ヲ拾フナラバ、國家財政ハ、建國當初歳入歳出合計ニ億七千餘萬圓デアツタモノガ、十年後ノ今日ニ於テハ實ニ其ノ十六倍餘タル四十四億五千餘萬圓ニ膨張シ、又鐵道ノ延長ハ六千「キロ」ガ一萬二千「キロ」、初等學校兒童數五十萬人ハ二百五十萬人ニ垂ントシテ居ルノデアリマス、又増産ノ方面デハ、石炭ガ四倍ニ、銑鐵ガ五倍ニ、ソレ々飛躍的ナ發展ヲ遂ゲテ居ルノデアリマス、尙此ノ外ニ、國民ノ保健衛生施設ノ改善等枚舉ニ遑ナイノデアリマスガ、其ノ顯著ナル一例ヲ舉ゲレバ、米英ガ東亞侵略ノ手段ニ用ヒナガラ、今ニ至ツテ人道ノ名ニ於テ惡聲ヲ放ツ所ノ彼ノ阿片吸引ノ弊ノ如キモ、建國當時阿片常用者八百三十萬デアツタモノガ、今日デハ極メテ僅少ヲ殘スノミトナリ、最近ノ將來ニ於テハ完全ニ跡ヲ絶ツベキコトガ期待セラル、ノデアリマス。

私ハ平素政府ノ責任者トシテ努力ノ尙足ラザル所ナキヤヲ反省シ、慚愧ヲ感ジテ居ル次第デアリマスガ、今此ノ國運ノ隆昌ヲ眼ノアタリニ見テ痛感スルコトハ、大日本帝國ノ終始變ラザル仗義デアリマス、抑々日滿關係ハ、建國ノ由來ヨリシテ當然且必然ニ一德一心關係ニアリ、畏クモ皇室帝室ニ於カセラレマシテハ、御交誼彌々益々敦睦ヲ加へ、率先垂範シ給ヒツ、アルノデアリマス、而シテ青史ニ比ナキ我が十年ノ

開發モ、一二日本ノ絶大ナル仗義ニ依ル援助ニ負フ所多ク、我方國トシテモ如何程報ユルモ報イ足ラヌ氣持デ、現ニ大東亞戰爭後方任務完遂ニ當ツテ居ル次第デアリマス。

次ニ大東亞建設ノ方途ニ付イテ些力所懷ヲ述ベタイト思ヒマス、曩ニモ述ベタルガ如ク、我方滿洲國ハ東亞解放、新秩序樹立ヲ目途トシテ建國セラレタルモノデアリ、有ラユル部面ト機會トニ於テ大東亞共榮圈必成ニ寄與センコトヲ念願シテ居ルモノデアリマス。

而シテ我方國ノ共榮圈各國トノ關係ハ、大日本帝國トハ夙ニ一德一心、不可分關係ニアルコトハ先程申述ベタ通りデアリマス。

又曩ニ新生中國ノ指導者汪主席閣下領導ノ下ニ南京國民政府ヲ樹立セラレ、其ノ基礎ヲ固ムルヤ、日華兩國ト共ニ日滿華間ノ永久ノ共同善隣關係ヲ規定スル三國共同宣言ヲ發表シ、又「タイ」國トモ親密ナル國交關係ヲ結ビ、更ニ支那事變方大東亞戰爭ニ發展シテヨリ後モ、「ビルマ」國、「フィリピン」國獨立ニ際シテハ直チニ之ヲ承認シ、將來益々親交ヲ加ヘンコトヲ期シテ居ル次第デアリマスガ、私ハ東亞ニ獨立國六ヲ數ヘ、更ニ又最近自由印度假政府ノ樹立ヲ加ヘ、史上無比ノ殷盛ヲ現出シタル今日コソ、全東亞各國ハ東亞一體、運命共同ノ信念ニ徹スルコトガ大東亞共榮圈建設ノ根本問題デアルト信ズルモノデアリマス、而シテ東亞ノ興隆方二期スベキ秋ニ當リ、英米ノ惡逆無道ナル彈壓下ニ呻吟スル印度國內四億ノ民衆ニ、絶大ナル同情ノ意ヲ表スルト共ニ、今尙迷夢醒メザル東亞ノ孤兒重慶政權方東亞恢弘ノ大義ニ立還ルベク反省

センコトヲ切ニ祈念スル次第デアリマス。

而シテ今後ノ東亞各國ハ、東亞ノ天地ニ過去ノ汚辱ノ永遠ニ再ビ還ラザルヤウ、一切ノ米英等ノ帝國主義的罪惡ノ痕跡ヲ拂拭シ去リ、有ラユル植民地の性格ヲ脱却シ、其ノ本然ノ姿ニ於テ、凡ソ世界ノ人道ヲ尊重シ、正義ヲ愛スル國家ト提携協調シツ、全世界ノ正シキ發展創造ニ參ゼントスル雄渾ナル意圖ヲ持ツベキデアリマス、私ハ其ノ意味ニ於テ、我等ト共通ノ目標ニ向ヒ、歐洲ニ勇戰奮闘シツ、アル獨逸ヲ初メ樞軸諸國ノ勝利ニ依リ、歐洲新秩序ノ成立ノ一日モ早カラシムコトヲ祈リ、且世界ノ到ル處ニ我等ト同調スル新秩序ノ出現ヲ待望セザルヲ得ナイノデアリマス、更ニ將來ノ東亞諸國家間ノ關係ハ、今次世界戰爭ニ於テモ反樞軸諸國間ニ露骨ニ見ラル、ガ如キ、利害ニ基キ離合集散スル從來ノ國際關係トハ根本的ニ相容レナイ、東洋道德ノ傳統的特色タル家族血縁ノ情誼ニ基調ヲ置キ、眞ニ東亞一家ノ觀念ノ下ニ、相互ニ永久ノ道義的國交ヲ誓約スベキモノト信ズルノデアリマス、從ツテ各國ハ各々其ノ傳統トシ特質トスル所ニ生き、且之ヲ相互ニ尊重スベキハ謂フ迄モナイノデアリマスガ、又一方政治、經濟、文化等有ラユル領域ニ互ツテ長短相補ヒ、有無相通ジ、以テ東亞全體ノ生成發展ニ寄與スベキデアリマス、國境ノ觀念ノ如キモ、曾テノ相互ニ對立スル所ノ非東洋的ナル國家ノ國境ニ非ズ、相互ニ協力シ、ヨリ大ナル創造ニ參ゼントスル、國家間ノ國境デアルトイフ如ク考へ、從來ノ國境觀念ニ縛ラレ、各國間ノ流通融合ヲ阻止シ來ツタ障壁ハ、一刻モ速カニ撤去スベキデアラウト思フノデアリマス。

又我等ノ招來セントスル東亞共榮圈ノ建設ハ、光輝アル古キ東亞ノ復興ヲ意味スルト同時ニ、ヨリ多ク新シキ東亞ノ創造ヲ意味スルノデアリマス、故ニ東亞各國ハソレ々新時代ニ即應スル意識ト力量トヲ具備シナケレバナラヌノデアリマス、私ガ曩ニ我ガ滿洲國ノ曾テ滿洲ニ見ラレザリシ全ク新シキ巨大ナル物心兩面ニ互ル建設ニ付イテ言及致シマシタノモ特ニ斯カル本意ニ出デタルモノデアリマス、尙此ノ際私ハ本年一月第八十一議會ノ施政方針演說ニ於テ東條首相閣下ガ『滿洲國ノ今日ノ發展充實ハ取りモ直サズ大東亞全域ノ明日ヲ示スモノデアアル』ト叫バレタコトヲ、共感ト感激トヲ以テ相起セザルヲ得ナイノデアリマス。

籲ツテ戦局ヲ大觀スレバ、敵米英ハ緒戦ニ於ケル東亞カラノ全面的敗退ノ後ヲ承ケ、今ヤ全東亞民族ガ澎湃トシテ覺醒シ、著々トシテ大東亞建設ノ巨歩ヲ進メツ、アルニ焦慮シ、彼等モ亦有ラン限りノ力ヲ揮ツテ我等ニ挑戦シ來リ、戦争ハ愈々悽愴苛烈ノ度ヲ加ヘ來ツテ居ルノデアリマス、實ニ此ノ戦争コソハ、彼等ガ過去ニ於テ幾度カ東亞ニ對シテ繰返シ來ツタ侵略戦争ノ最後ノモノデアリマシテ、且最モ大規模ナルモノデアリマス、茲ニ於テ我等ハ今コソ我等ノ熱烈ナル念願タル大東亞共榮ノ達成ノ爲、天ガ我等ニ與ヘタル唯一ノ機會デアリ、而モ全東亞民族ノ興亡ヲ永遠ニ決定スベキ秋デアルコトヲ、深刻ニ認識シナケレバナラヌノデアリマス、從ツテ我等今日ノ要務ハ、大東亞各國ノ物心兩面ニ互ル一切ヲ擧ゲテ之ヲ戦力化シ、東亞ノ總力ヲ打ツテ一丸トシテ敵米英ヲ擊擢セントスルノ一語ニ盡キルノデアリマス。

而シテ我等十億ノ民族ガ、其ノ傳統タル優越セル精神カヲ以テ、世界ニ冠絶スル大東亞ノ資源ヲ總動員シ、戦ヒツ、建設シ、建設シツ、戦ヒ、飽ク迄逞マシキ建設戦ヲ推進シテ行クニ於テハ、必ズヤ光榮アル最後ノ勝利ガ我等ニ歸スベキハ、何人モ疑ハザル所デアリマス。

我方滿洲國官民ハ、大東亞戰爭勃發ト共ニ宣示セラレタル大日本帝國ト死生存亡、斷ジテ分携セズトノ帝旨ヲ奉體シ、國人ヲ擧ゲ、國力ヲ盡シ、大東亞戰爭遂行ニ協力シ、北邊鎮護ノ重責ニ任ジ來ツタノデアリマスガ、私ハ茲ニ我等ハ愈々此ノ決意ヲ固クスルト共ニ、益々大東亞各國ト相呼應シ、相結束シ、必勝必成ノ信念ヲ以テ、大東亞建設ノ聖業ニ力ヲ竭サンコトヲ誓フモノデアリマス。